

# 平成19年度事業計画

(平成19年4月1日－平成20年3月31日)

## I. 定期学術集会・総会の開催

第54回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会期：平成19年5月23日(水)～25日(金)  
会場：タワーホール船堀  
会長：須藤 カツ子(東京医科大学動物実験センター)  
参加者：約1,000名を予定

## II. 通常総会、理事会、評議員会の開催

通常総会(1回)、理事会(2回)、評議員会(1回)を開催する。

## III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に配布する。

発行年月日	巻	号	備考
平成19年 4月 1日	56	2	一部収益事業
平成19年 4月 1日	56	3 (サプリメント号)	〃
平成19年 7月 1日	56	4	〃
平成19年10月 1日	56	5	〃
平成20年 1月 1日	57	1	〃

## IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 第19回学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞(3名)

佐藤 徳光 会員

辻 紘一郎 会員

武藤 健 会員

2) 安東・田嶋賞(1名)

伊藤 豊志雄 会員：「実験動物の微生物学的品質管理に果たした役割」

3) 2006年 Experimental Animals 最優秀論文賞

藤本和則会員、小石龍太会員、清水川哲也会員、安藤洋介会員：「Angpt13欠損マウスはリポ蛋白リパーゼ活性亢進による血中脂質濃度の低下を示す」

(2) 2006 年度日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

・受賞者

中 国	:	Yin Ming
韓 国	:	Byeong-Cheol Kang
台 湾	:	Yi-fan Chen
タ イ	:	Thidarut Boonmars

(3) 第 20 回日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2007 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2007 年度日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

#### V. 役員（平成 20-21 年度在任）の改選にかかわる諸事業

(1) 会員名簿を作成する。

(2) 理事候補者を選出する。

#### VI. 委員会等の活動

委員会、ワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 学会統合組織委員会
- e. 国際交流委員会
- f. 広報・渉外委員会
- g. 動物福祉・倫理委員会
- h. 定款・細則・規程等検討委員会
- i. マウス・ラット感染対策委員会
- j. 教育・研修ワーキンググループ

#### VII. 関連学協会との連携

(1) 日本学会会議の活動に協力する。

(2) 社団法人日本実験動物協会、日本実験動物技術者協会、日本実験動物環境研究会およびその他の国内外関連学会・協会の活動に協力する。

(3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）における活動を継続する。

(4) アジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続する。

(5) 米国実験動物学会（AALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。

- (6) 国立大学法人動物実験施設協議会、公私立実験動物施設協議会等との活動に協力する。
- (7) 財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターの活動に協力する。

#### VIII. その他

- (1) 平成 19 年度維持会員懇談会を実施する。(財務特別委員会担当)
- (2) ワークショップ等を開催する。(教育・研修ワーキンググループ担当)
- (3) 日本疾患モデル学会との統合を進める。(学会統合組織委員会担当)